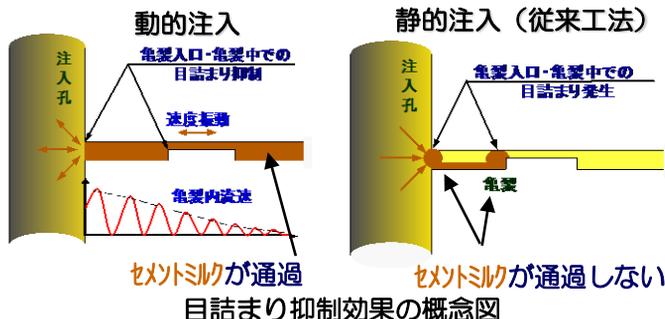


岩盤高止水 動的グラウチング工法

本工法は、ダム基礎処理や岩盤空洞の止水工事に於いて、グラウト注入時に注入圧力を脈動させることにより、改良効果と注入効率を向上させる技術です。**グラウト工事の品質向上・コスト縮減**が可能となります。

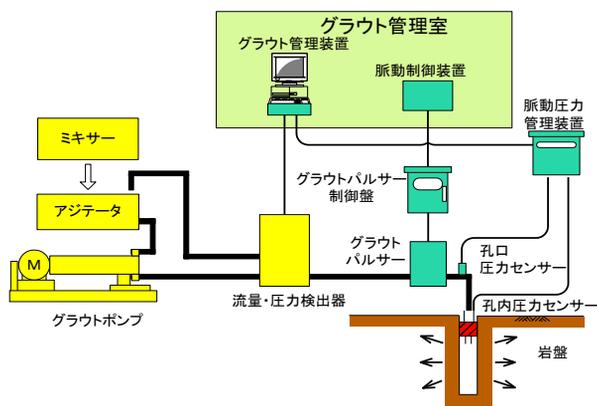
原理

グラウト注入時に、通常は一定である注入圧力に、5～10Hz程度の脈動を与えることにより、見かけの粘性が低下して流動性が向上します。さらに、脈動によって亀裂入口や亀裂中でのセメント粒子の目詰まりが抑制されます。これらの効果から、グラウトの改良効果と注入効率が向上します。



動的グラウチングシステム

動的グラウチングシステムは、従来の注入システムに脈動を発生させるグラウトパルサーを付加した簡便なシステムです。グラウトパルサーは、小型・軽量であり、運転・制御は遠隔で容易に行うことができます。



特徴

- 改良品質の向上
亀裂中での目詰まりを抑制できるため、セメントやベントナイトなどの注入材料をより多く空隙に充填できます。これにより、従来工法に比べて改良強度や止水性などの改良品質が向上します。
- 施工効率の向上
従来工法に比べて、注入効率(単位時間当たりのセメント注入量)が向上すること、より広範囲への注入が可能なることから、施工効率が向上し、工期短縮およびコスト低減を図れます。

用途

- ダムにおける各種岩盤グラウト
- 山岳トンネルにおける長尺先受け工法などの改良材注入
- OLPG岩盤貯蔵など岩盤空洞における止水注入
- 処分場などにおける止水注入

